

### (1) 現状

- ・ 開館から約60年が経過し施設の老朽化が課題。  
(必要なメンテナンスや定期点検を実施しているが、音響設備等の耐用年数が超過。)
- ・ 県庁舎等施設長寿命化計画では「目標使用年数を原則80年、築40年で大規模改修」を基本としている。

### (2) コロナ禍前後の年間利用者数

- ・ 概ね60万人で推移してきたが、コロナ禍によって休館や利用制限の影響を受け、令和2年度に減少。
- ・ その後、利用者数は回復基調にあったが、令和6年度については、指定管理者の変更により前年度からの誘客が十分にできなかったことや水戸市民会館の開館などの影響により大ホールの利用者が減少。



コロナ禍前の利用者数に戻るためには**新たな需要の発掘**が必要

【施設の年間利用者数】

(単位：人)

| 年度   | H14(レーク) | H27     | H28     | H29     | H30     | R 1     | R 2     | R 3     | R 4     | R 5     | R 6     | R 6/レーク |
|------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 利用者数 | 669,107  | 634,242 | 604,882 | 597,622 | 609,734 | 513,727 | 129,695 | 237,272 | 339,509 | 337,228 | 273,650 | 40.90%  |

### (3) 利用状況 (R6とR5の比較)

【施設の年間利用者数】

(単位：人)

|            | 上期      | 下期      | 計       | うち大ホール  |
|------------|---------|---------|---------|---------|
| R5実績       | 148,268 | 205,831 | 337,228 | 141,870 |
| R6実績       | 114,842 | 158,808 | 273,650 | 95,157  |
| 比較 (R6/R5) | △33,426 | △47,023 | △63,578 | △46,713 |
|            | 77.5%   | 77.2%   | 81.1%   | 67.1%   |



前年度と比較すると、**約8割の利用**に留まる。

### (3) 利用状況 (R6とR5の比較)

#### 【大ホールの利用が減少した要因】

- ・ 指定管理者の変更により前年度からの誘客が十分にできなかったこと
- ・ 旧水戸市民会館で開催していた水戸市関係の催事が水戸市民会館に戻ったこと
- ・ 毎年夏から秋にかけて文化センターを利用していた高校等の吹奏楽の練習が水戸市民会館等に移った。  
⇒ (想定される理由) ・ 本番環境での練習が可能なこと (音の響きなど)  
・ **舞台のみの利用で、文化センターよりも安価な利用料金を設定**していること

#### 【直近の利用状況】

- ・ 指定管理者では集客力のあるアーティストを誘致するなど利用促進に取り組み、  
**令和7年1月～3月の大ホールの稼働日数は前年度を上回っている。**  
**また、令和7年4月、5月も大ホールも含めて令和5年度と同程度の利用者数に戻っている。**

### (4) 利用促進の取組 ※検討中の内容も含む。

#### 【新たな需要の発掘】

- ・ **舞台割 (学生向け)** の導入  
⇒ 県内の吹奏楽や合唱などの文化部系の学生が練習等のために**舞台のみを利用する場合の特別料金**
- ・ 中学生、高校生を対象とした**ダンスコンテスト (関東大会)** の開催 (大ホール)  
⇒ 関東レベルでのダンス大会がないため、**県内最大規模のダンスイベントを目指す。**

#### 【前年度の状況を踏まえた改善等】

- ・ 佐渡裕 (指揮者) やウクライナ国立歌劇場オペラなどの**注目度が高く従来なかったイベントの誘致**
- ・ **指定管理者の自主事業** (昭和音大による音楽教養講座など) について、可能な限り集客が見込める**土日に開催**
- ・ 夕方の**公演後の移動手段の確保** (公共交通機関の利用者向け)  
⇒ 帰りの最終バス (平日は20:07) がなくなってしまう場合、**バス会社に交渉し臨時便を手配**